

平成27年10月29日

株式会社 中国銀行

メガソーラー事業に対するプロジェクトファイナンスの取組みについて

当行では、株式会社アドバンテック（本社：愛媛県西条市、以下当社）がおこなう太陽光発電事業に対して、プロジェクトファイナンス*の取組みをいたします。

本件は、当社が東日本大震災の津波で被災した福島県相馬市の水田跡地でおこなう太陽光発電事業に対し、当行とTSUBASAプロジェクトで連携しております東邦銀行（本店：福島県福島市）が共同でアレンジャーを務め、当社の地元取引金融機関である百十四銀行とともにシンジケートローンを組成して融資契約を締結しました。太陽光事業用地の地元金融機関と広域連携することでお取引先さまの県域を超えた事業展開への支援を可能にし、本件取組みを通じて、津波による塩害で耕作が困難となった土地の有効利用による震災被災地の復興を支援します。

当行では、今後とも、太陽光発電事業への支援体制強化を図り、地域の活性化に努めてまいります。

1. 太陽光発電事業の概要

発電会社名	合同会社相馬原釜太陽の郷
所在地	福島県相馬市原釜
敷地面積	約121,248㎡（1～4号合計）
出力	約8,867kW（1～4号合計）
建設日	（1、2号）平成27年10月落成予定 （3、4号）平成28年3月落成予定
総事業費	約37億円

2. シンジケートローンの概要

アレンジャー	中国銀行、東邦銀行
貸付人	中国銀行、東邦銀行、百十四銀行
金額	約30億円

3. 株式会社アドバンテックの概要

- （1）所在地：（愛媛本社）愛媛県西条市港293-1
- （2）資本金：41,500千円
- （3）代表者：山名 正英やまな まさひで
- （4）業種：製造業
- （5）事業内容：半導体製造装置関連部品製造・販売、太陽光関連事業
- （6）連絡先：水野 裕太郎みずの ゆうたろう（経営企画部）
（0897）-53-7711（代表）

コメント : 愛媛県西条市に本社兼工場を構え、主に半導体製造装置メーカーや国内の大手製造業に対して真空配管やテストウエハーなどの製造・販売をおこなっています。

半導体やシリコンに対する知見を活かした形で、太陽光発電事業に平成19年から本格参入。発電設備の設計から設置、運転までの一連の業務を一貫しておこない、これまでに国内35か所、計45MW(平成27年10月末日現在)の発電設備を設置・運転しています。

現在は、太陽光発電設備の設置をきっかけとして、その地域での活性化施策を地元と連携して推進しております。本件での被災地支援のほか、北海道では自治体と連携して地産地消型の安価でクリーンな電力を供給する計画を進めているなど、今後も地域との共存共栄を進めてまいります。

以 上

(参 考)

*プロジェクトファイナンスとは

プロジェクト専用の特別目的会社(SPC)を設立し、SPCが借入人として、当該事業資産および権利を担保に、プロジェクトから生み出されるキャッシュフローを返済財源としておこなわれる融資手法。出資者となるスポンサー企業自身にSPCの債務が遡及されないため、リスクを限定した形で事業をおこなえるメリットがあります。

T S U B A S A (翼)プロジェクトとは

平成20年3月にスタートしたシステム共同化を検討するプロジェクトで、現在7行(千葉銀行、第四銀行、東邦銀行、北國銀行、伊予銀行、北洋銀行、中国銀行)が参加しています。基幹系システムや各種サブシステムの共同化のほか、システム以外の分野においても人材交流や情報交換など実施しており、さまざまな連携について協議を進めています。